



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

農業用施設機械等設計施工技術支援業務

積算書

(当初)

九州農政局
土地改良技術事務所

事業名	土地改良技術
業務名	農業用施設機械等設計施工技術支援業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S63003	承諾図書の照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	2.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	3.50人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	3.50人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.500	人	59,600	208,600	
R04005	技師(B)	3.500	人	48,500	169,750	
	合 計				512,150	算出数量 1.000 式
	単 価		式		512,150	
*** S単-2号 ***						
S63003	照査結果の報告等 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.50人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	0.50人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	0.00人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
	合 計				63,250	算出数量 1.000 式
	単 価		式		63,250	
*** S単-3号 ***						
S63003	設計資料等の照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	2.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	3.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	3.00人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
	合 計				458,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		458,100	
*** S単-4号 ***						
S63003	設計資料等の照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	2.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	2.50人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
						深夜時間:0.0

事業名	土地改良技術
業務名	農業用施設機械等設計施工技術支援業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5) 技師Bの人数	2.50人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	2.500	人	59,600	149,000	
R04005	技師 (B)	2.500	人	48,500	121,250	
	合計				404,050	算出数量 1.000 式
	単価		式		404,050	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4) 技師Aの人数	2.50人				
	5) 技師Bの人数	2.50人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A)	2.500	人	59,600	149,000	
R04005	技師 (B)	2.500	人	48,500	121,250	
	合計				337,150	算出数量 1.000 式
	単価		式		337,150	
	*** S単- 6号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 (A)	0.500	人	59,600	29,800	
	合計				63,250	算出数量 1.000 回
	単価		回		63,250	
	*** S単- 7号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1, A-4, 100, 3cm, 1			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 報告書部数(部)	1.000		深夜時間:0.0		
	2) 規格区分	A-4				
	3) 枚数区分(枚)	100				
	4) 厚さ区分	3cm				
	5) CD-R枚数(枚)	1.000				
P43414	報告書焼付代 (コピー)	1.000	部	1,500	1,500	
	A-4以下 100枚					
P43541	簡易加除式ファイル	1.000	冊	525	525	
	A 4縦型幅3cm(チューブ・パイプファイル)					
P43602	CD-R	1.000	枚	47	47	
	CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB					
	合計				2,072	算出数量 1.000 式

令和7年度

農業用施設機械等設計施工技術支援業務

特別仕様書

九州農政局 土地改良技術事務所

第1章 総則

第1-1条 適用範囲

農業用施設機械等設計施工技術支援業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条 目的

本業務は、九州農政局管内事業(務)所において実施予定の農業用施設機械（用排水機、水門設備、除塵設備、水管理設備）工事（以下、「工事」という。）について、技術・知識・経験の提供を受ける（以下、「技術支援」という。）ことにより、工事の円滑な進捗、農業用施設機械の適正な品質・耐用年数・機能発揮及び良好な維持管理性を確保することを目的とする。

第1-3条 一般事項

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序・方法は、監督職員と緊密な連絡を取り作業の円滑な進捗を図るものとする。

第1-4条 管理技術者

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、業務に該当する部門・選択科目及びこれと同等の能力と経験を有する技術者は次のとおりとする。

資格等	技術部門	選択科目
技術士	農業	農業土木、農業農村工学
	総合技術監理	農業－農業土木、農業農村工学 機械－機械設計、材料力学、機械力学・制御、動力エネルギー、熱工学、流体工学
	機械	機械設計、材料力学、機械力学・制御、動力エネルギー、熱工学、流体工学
	建設	施工計画、施工設備及び積算
RCCM (シビルコンサルティングマネージャー)	農業土木、施工計画、機械	
農業土木技術管理士		

第1-5条 担当技術者

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-6条 配置予定技術者の確認

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-7条 保険の加入

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条 参考図書

作業の参考にする図書は、別紙-1（参考資料一覧表）及び共通仕様書第2-1条によるほか、監督職員との協議により決定する

第2-2条 確認資料

確認資料は次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
承諾図書	笠之原国営施設機能保全事業 水管理施設改修工事（仮称）	1式
承諾図書	宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ製作据付建設工事（仮称）	1式
承諾図書	西国東海岸保全事業 2・3号排水樋門ゲート製作据付工事（仮称）	1式
承諾図書	西国東海岸保全事業 2・3号排水機場除塵設備製作据付工事（仮称）	1式

第2-3条 参考図書及び確認資料の取扱い

第2-1条及び第2-2条に示す参考図書及び確認資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 確認資料の記載事項と参考図書の記載事項に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改正された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 確認資料は、承諾図書の確認に必要な部分以外の複写、複製等を行ってはならない。

第3章 作業内容

第3-1条 作業項目及び数量

本業務における作業項目及び作業内容は下表のとおりであり、数量等の詳細は、別紙-2（件名及び概要一覧表）及び別紙-3（作業数量一覧表）に示すものとする。

1. 作業項目	作業内容
承諾図書の照査 (件名毎)	・ 設計図書及び業務報告書をもとに承諾図書を照査すると共に、製作、据付、運用、維持管理上等々の観点から配慮すべき事項の整理を行う。
照査結果の報告等 (件名毎)	・ 承諾図書の照査結果について報告を行う。 ・ 承諾図書の改善点等の提案を行う。
点検取りまとめ	・ 上記の結果を取りまとめ、報告書を作成する。

第3-2条 作業の留意点

作業の実施に際し、特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 第2-1条、第2-2条及び共通仕様書に示す参考図書、受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (2) 第3-1条の各作業内容の照査等は、別紙-4（照査の要点）に留意するものとする。

第4章 打合せ

共通仕様書第1-10条による打合せについては、Web会議形式にて次の段階で行うものとする。

初回 作業着手の段階

最終回 報告書作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条 成果物

成果物は共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

なお、第1-17条第3項は適用しない。

1. 成果物の電子データ（CD-R等に格納、ウイルス対策実施） 1部
2. 成果物の出力（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可） 1部

第5-2条 成果物の提出先

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県熊本市東区東町4丁目5-7

九州農政局土地改良技術事務所

第6章 契約変更

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4章に示す「業務打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。

(4) 履行期間に変更が生じた場合。

(5) その他

第7章 定めなき事項

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙－１（参考資料一覧表）

参考資料名	発行年月	発行機関
土地改良事業計画設計基準及び運用・解説設計 ポンプ場	H30.5	農業農村工学会
鋼構造物計画設計技術指針 水門扉編	H21.3	農業土木機械化協会
鋼構造物計画設計技術指針 除塵設備編	H27.8	農業土木機械化協会
鋼構造物計画設計技術指針 小形水門扉編 利用の手引き	H22.3	農業土木機械化協会
電気設備計画設計技術指針 高低圧編	R2.11	農林水産省 HP
電気設備計画設計技術指針 特別高圧編	H20.3	農業土木機械化協会
水管理制御方式技術指針 計画設計編	R6.10	農業土木機械化協会
バルブ設備計画設計技術指針	H27.3	農業土木事業協会
高NS・高流速ポンプ設備計画設計技術指針 [改訂版]	H19.4	農業土木事業協会
最新ポンプ設備工学ハンドブック [改訂版]	H19.8 発行	農業土木事業協会
施設機械工事等施工管理基準	R4.3	農林水産省 HP
施設機械工事等検査技術基準	R4.3	農林水産省 HP
施設機械工事等共通仕様書	R6.3	農林水産省 HP
電気通信設備施工管理の手引き	H30	建設電気技術協会
農業水利施設の機能保全の手引き	H28.5	農林水産省 HP
農業水利施設の機能保全の手引き「頭首工（ゲート）設備」	H22.6	農林水産省 HP
農業水利施設の機能保全の手引き「ポンプ場（ポンプ設備）」	H27.2	農林水産省 HP
農業水利施設の機能保全の手引き「除塵設備」	H25.4	農林水産省 HP
農業水利施設の機能保全の手引き「電気設備」	H25.5	農林水産省 HP
農業水利施設の機能保全の手引き「水管理制御設備」	H25.5	農林水産省 HP

参考資料は最新のもの参考とすることとする。

別紙－２（件名及び概要一覧表）

番号	件名	概要
1	笠之原国営施設機能保全事業 水管理施設改修工事（仮称）	(1) 情報処理設備（更新） 1式 (2) 情報伝送設備（更新） 1式 (3) 計装設備（更新） 1式 (4) 電源設備（更新） 1式 (5) 既設設備（撤去） 1式
2	宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ製作据 付建設工事（仮称）	(1) 主ポンプ設備 横軸射流、口径1,650mm×3台 (2) 動力伝達装置 1式 (3) 吸吐出管類 1式 (4) 弁類 1式 (5) 原動機 1式 (6) 補助機械設備 1式 (7) 付帯設備 1式 (8) 受電・配電設備 1式

		(9) 操作設備 (10) 計装設備	1 式 1 式
番号	件名	概要	
3	西国東海岸保全事業 2・3号排水樋門ゲート製作据付 工事（仮称）	(1) ローゲート設備（扉体、戸当り、開閉装置） 1) 型式 ステンレス鋼製プレートゲータ構造ローゲート 2) 寸法・数量 純径間2.00m×有効高2.00m×3門 3) 付帯設備 防護柵、階段工 1式 (2) 川表フラップゲート設備（扉体、戸当り、開閉装置） 1) 型式 ステンレス鋼製フラップゲート 2) 寸法・数量 純径間2.00m×有効高2.00×2門 (3) 角落しゲート（扉体） 1) 型式 鋼製プレートゲータ構造角落しゲート 2) 寸法 純径間3.20m × 有効高2.82m×1門 3) 付帯設備 リフティングビーム (4) 角落しゲート（戸当り） 1) 型式 鋼製角落しゲート戸当り 2) 寸法 純径間3.20m×戸当り高2.82m×4門分	
4	西国東海岸保全事業 2・3号排水機場除塵設備製作据 付工事（仮称）	(1) 除塵設備 1) 除塵設備 4基 2) 水平コンベヤ 2基 3) 傾斜コンベヤ 2基 4) 付帯設備（管理歩廊、階段、防護柵）1式 5) 電気設備 1式	

別紙－3（作業数量一覧表）

番号	件名	作業項目			
		承諾図書 等の照査	照査結果 の報告	予定工期	承諾図書 提出予定日
1	笠之原国営施設機能保全事業 水管理施設改修工事（仮 称）	○	1回	令和7年6月 ～ 令和9年3月	令和7年9月 上旬
2	宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ 製作据付建設工事（仮称）	○	1回	令和7年11月 ～ 令和10年3月	令和8年1月 下旬
3	西国東海岸保全事業 2・3号排水樋門ゲート製 作据付工事（仮称）	○	1回	令和7年3月 ～ 令和8年3月	令和7年4月 下旬
4	西国東海岸保全事業 2・3号排水機場除塵設備 製作据付工事（仮称）	○	1回	令和7年4月 ～ 令和8年3月	令和7年8月 中旬

※1 承諾図書の照査については、書類を郵送等で送付し受注者の事務所等で行う。

※2 照査結果については、件名のWeb打合せ毎に確認、報告を行う。

別紙-4 (照査の要点)

作業項目	作業内容	要 点
承諾図書の照査 (件名毎)	・ 設計図書及び業務報告書をもとに承諾図書を照査すると共に、製作、据付、運用、維持管理上等々の観点から配慮すべき事項の整理を行う。	・ 発注仕様との照らし合わせ ・ 技術指針及び基準を遵守しているか ・ 保守管理が考慮されているか ・ 現場条件、維持管理が考慮されているか ・ 施工管理基準および検査基準に適合しているか
照査結果の報告等 (件名毎)	・ 承諾図書の照査結果について報告を行う。 ・ 承諾図書の改善点等の提案を行う。	・ 承諾図書の照査結果報告及び改善点等の提案